

# 神奈川県石川ひろのり

## 県議会レポート 2023 特別号

住み続けたい街  
麻生区のために

石川ひろのり事務所  
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階  
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>    石川ひろのり

本当に神奈川県は住みやすいのか  
あなたの納めた税金を  
「生まれて・育て・住んで良かった」  
誇りある神奈川県に。  
今日より明日はきっといいことがある。  
住み続けたい神奈川県を目指して。



# 県税の使い方を考える。 令和4年度決算特別委員会にて質疑

神奈川県議会では10月中旬から11月上旬までの約3週間にわたり令和4年度決算に関する特別委員会が開催され、「観光客受入れ整備事業」「生活困窮者対策推進本部事業」などについて質疑を行いました。

### 主な質問

観光客受入れ環境整備事業について  
中期的な計画を検討するよう要望。

**石川** 令和4年度観光客受入れ環境整備事業費として3億円が計上され、多言語表記等の整備やワーケーション、DX整備等に取り組む民間事業者に対して補助をする事業を行ったとしている。県有施設など公共としての観光客受入れ環境整備事業はどのようなものがあつたのか。また、その決算額を確認する。

**観光課長** この事業は民間事業者への補助であり、県有施設は対象としていない。また、県有施設整備においてはそれぞれの所管部局で予算計上を行っており、観光部門では把握していない。

**石川** 同事業の令和5年度予算は3,000万円であり昨年度の10分の1である。また、補助対象も民間事業者である。6月、観光客受入れ環境整備費用の今後の見込額について質問した際、知事から「大型イベントが終了しコロナ禍を経た現在、国際社会の動向の不透明さや観光産業の人手不足など、先行きが見通しにくい状況のため、現時点においては中長期的な費用の推計を行うことが難しい」との答弁があつた。中長期的な費用を見通せないということは、県として中長期的な事業計画がないという理解でよいのか。

**観光課長** 今年3月に観光振興計画を改定したが、費用としての事業計画はない。

**石川** 県観光振興計画には、県有施設のトイレ洋式化、設備改修の加速化、宿泊施設等の誘致促進、バリアフリーの街づくりなどが掲げられている。この具体的な（費用に対する）事業計画はどのようになっているのか。

**観光局長** 県観光振興計画は方向性を示している。施設整備は所管部局で予算計上している。現在、観光を切り口とした施設整備に関し他局との連携をとる作業を行っていない。

**石川** コロナ以前2017年から22年までの5年計画では受入れ環境整備事業を進める上で、県の費用分担として多言語表示の案内板や公衆トイレの整備、ガイドブックの作成などで約7億円と具体的な数値計画があつた。外国人観光客数がコロナ以前に戻りつつある中、県としての費用を含めた中期的な事業計画を検討するよう求める。

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止 協力金事業について

多額の税金が使われた事業であり、  
県民にしっかりと報告するよう求める。

**石川** 飲食店を対象とした第3弾からの協力金の交付件数及び交付金額は県全体でどのくらいとなつたのか。

**中小企業支援課長** 飲食店向けの協力金は、交付件数約38万5,000件、交付金額約5,846億円となっている。

**石川** この申請受付業務等は委託事業となつていた。この委託費は総額でどのくらいとなつたのか。また、全体でどのくらいの申請件数があつたのか。

**中小企業支援課長** 申請業務等に関する委託費は総額で約77億7,000万円、申請件数は約39万5,000件であつた。

**石川** 委託費用もとても大きな金額となっているが、新型コロナの分類が5類に引き下げられた中で、以前から指摘している協力金事業に関しての検証・総括は進められているのか。

**中小企業支援課長** これまで3年間の業務内容の整理、振り返りは重要と考える。現在、くらし安全防災局が県全体での新型コロナの対応に関して年度内を目処にとりまとめを行っている。これに併せて準備を進めている。

**石川** 年度内と言わず早急に検証、総括の結果を報告するよう求める。この協力金事業では大変残念ながら不正請求もあり、現在、返還請求を行っている」と承知している。これは貴重な税金であり、きちんと返還をしてもらう必要がある。現在、返還請求はどのくらいの件数と金額になっているのか。

**中小企業支援課長** 当初、726名、約15億4,000万円となつていたが、対応を進め令和5年9月30日現在、返還済、分割納付、強制執行などを差し引くと62名、約5億6,000万円となっている。引き続き法的措置等を執っていく。

**石川** 不正は許さないという厳しい姿勢で取り組むとともに、多額の税金が使われた事業であり、今後、随意契約を含めた委託事業者の選定の在り方など事業全体の検証と総括を県民に対してしっかりと報告をするよう求める。

【生活困窮者対策取組実績として報告された内容】  
介護の担い手の拡充（介護人材確保促進事業）[地域福祉課]

取組概要	【介護の魅力発信動画作成・広報事業費】 介護に関する事実や魅力を伝える動画を作成し、「介護の日」に合わせて集中的な広報を行うことで、介護業界に係るマイナスイメージの払しょくを図った。【対象：県内全域】
実績	下記路線のテレビビジョンにて放映（15秒） JR横浜線 11/7-11/13 横浜市営地下鉄 11/7-11/13 小田急 11/7-11/13 相鉄 11/7-11/20
事業評価	事業実施後のアンケートでは、介護の現場でどのような取り組みをしているのかがよくなったという声がかつた。今年度初めての取組ということもあり、今後はアンケートの声を踏まえてSNSも活用するなど工夫していきたい。

### 生活困窮者対策推進本部事業について 事業内容の精査を強く求める。

**石川** これまでも、新型コロナ禍において支援が必要な方々に迅速に届く「仕組み」を作るとともに、より実効性のある支援を求めてきた。推進本部事業の令和4年度取組実績に、コロナ禍での生活困窮者対策にもかかわらず「介護の担い手の拡充」「介護職等の資質向上研修」が報告されている。生活困窮者対策にこの項目が挙げられている理由はなぜか。

**地域福祉課長** 孤独・孤立に陥っている要介護者やケアラー等への支援として、適切に介護サービスを受けられるよう、また、雇用の面からは生活再建の手段として新たに介護サービスに従事しようとする方への後押しをすること、この両面でこの事業を位置づけた。

**石川** コロナ禍で生活困窮者対策として緊急的に進める事業なのか。その上で、介護の担い手の拡充として介護の魅力発信動画を作成し、小田急線など4路線でテレビビジョンを放映し約160万円が執行されている。事業結果としてアンケート内容の報告はあるが、アンケート全体の依頼数・回答数の報告がない。

**地域福祉課長** 駅でアンケート調査を行う予定であつたが難しく、急きよ相鉄線沿線の県立高校2校に依頼しアンケートを行った。全体の回答数は291件であり、うち274件は動画を見ておらず、動画を見たという回答数は15件となっている。

**石川** なぜ、その実績報告がなされていないのか。なぜ、県立高校2校へのアンケートなのか。アンケートの取り方、評価、事業報告の在り方について非常に疑問を感じる。今年度もこの事業を計画しているが、今後、この事業を行うのであれば、費用対効果、効果検証を把握する手立てを立てたうえで事業を進めるよう求める。また、推進本部においては、改めて必要な方々に迅速かつ実効性ある支援に加えて、事業内容の精査を強く求める。



## 活動報告

### ▶子どもがつくる町・ミニたまゆり2023

9月、田園調布学園大学で4年ぶりに開催された「子どもがつくる町・ミニたまゆり2023」にお伺いさせて頂きました。田園調布学園大学が中心となり、地域の子もたちと一緒に仮想マネーを用いて「仮想の町をつくる」イベントです。子どもたちは町づくりや職業体験を通して、社会の仕組みやお金の大切さ、働くことの意義を学ぶことができます。自分の好きなお店で仕事に従事し、支払われたお給料で買い物や食事、ゲームを楽しむという体験が子どもたちの目を輝かせていました。このようなイベントが継続的に行われることで、子どもたちの教育と将来への夢が一層広がることを期待しています。



### ▶第41回あさお区民まつり

10月、麻生区役所周辺で開催された「第41回あさお区民まつり」に出席しました。開会式では「麻生区地域功労者」表彰も行われ、地域における環境美化、健康づくり、防災など地域の活性化に大きく尽力された方々が表彰されました。会場は地元野菜の販売やバザー、キッチンカーの出店、鉄道模型の展示などで大いに盛り上がっていました。来年は市制100周年を迎えます。来年の区民まつりに向けて、ますますの盛り上がりを楽しみにしています。



### ▶第25回禅寺丸柿まつり

10月、柿生駅前で開催された「第25回禅寺丸柿まつり」にお伺いさせて頂きました。この柿まつりは、禅寺丸柿の収穫時期に合わせ、地域の交流・振興を目的に開催され、今年で25回目の節目を迎えました。会場では、アニソンものまね対決や地元中学校吹奏楽部による素晴らしい演奏、禅寺丸柿の即売会や柿の皮むき大会なども行われ、たくさんの方がお祭りを楽しまれていました。また、会場で地域のお話をはじめさまざまなご意見、ご要望を直接お伺いさせて頂きありがとうございました。



### 横浜マラソン2023 フルマラソンの部に出場

10月、昨年に引き続き、「横浜マラソン2023」のフルマラソンの部に出場しました。けがによる練習不足もあり悔しい結果となりましたが、給水所をはじめとするボランティアの方々や沿道の皆さんからの励ましの声援が、一度も立ち止まることなく完走する力となりました。改めてスポーツの素晴らしさを感じることができた大会でした。この経験を生かし今後もマラソンのように粘り強く政策課題に取り組んで参ります。



#### 石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議員に初当選（現在3期目）。麻生区在住。引きこもり支援相談士。  
趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会・横浜マラソン大会などに出場。自己ベスト記録 3時間29分28秒） 家族：妻、子供一人  
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

▶ 議会レポート、タウンニュースのバックナンバー・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧頂けます。

石川ひろのり 検索

石川ひろのり ホームページ



ボランティア  
スタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。TELまたはHP内お問い合わせよりご連絡をお待ちしております。

石川ひろのりの活動への  
ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させて頂きます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいますようお願い申し上げます。  
▶石川ひろのり後援会 【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777) 【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	

### ▶みんなでチャレンジコンサートinあさお

10月、麻生市民交流館で開催された「みんなでチャレンジコンサートinあさお」にお伺いさせて頂きました。このコンサートは、障がいのある方を中心にした演奏やパフォーマンスが披露されるイベントです。会場は立ち見が出るほど多くのお客様が来場され、参加者と一緒に楽しむプログラムもありアットホームでとても楽しいコンサートでした。今後もこのような活動を通じて地域との結びつきが一層深まることを期待しています。



### 駅頭・街頭活動

麻生区内の各駅にて、通勤・通学時間帯を中心に活動報告をお配りしています。毎回多くのお声掛けをいただき、地域の皆さまの現場の声をお聞きする貴重な機会となっています。お見かけの際はぜひご意見・ご要望などをお聞かせください。



## 県政報告(タウンニュース掲載) 2023年9月29日



石川ひろのり

1968年11月3日生まれ / 横浜市出身 / サラリーマンを約20年経験 / 参議院議員政策秘書、衆議院議員 笠ひろふみ秘書など経験 / 麻生区在住

外国人観光客  
受入れ環境整備事業

石川ひろのり 事務所  
麻生区百合丘1-5-4  
米山ビル202  
TEL 044-455-6611  
FAX 044-455-6614  
石川ひろのり 検索

かながわ未来  
県政報告vol.49  
約300億円の財源不足！県税の使い方を考える  
神奈川県議会議員 石川ひろのり

県は9月、令和6年度 業成果の検証や市町村間 当初予算を編成するにあ 格差がある取組みを見 たり、介護・医療・児童 直すべく委員会等で質疑 関係費や公債費の増加を 提案を行っています。

理由に現段階で概ね30 0億円の財源不足が見込 まれると発表しました。 財源不足は県債発行等で 補填されており、私は限 られた県税を有効かつ効 率的に活用するため、事 業推進本部を設置し施 策を進めています。しか し、その予算には介護の 担い手拡充や介護職の資 質向上研修費、約2千万 円が計上されている等、 その事業内容とともに年 度に数回程度の本部会議で 実効的な施策を迅速に検 証できるのか指摘してい ます。私は、支援が必要 な方々に迅速に届く「仕 組み」を構築し、その結 果検証を行い、より実効 的な支援につなげるこ とを強く求めています。

外国人観光客  
受入れ環境整備事業

約300億円の財源不足！県税の使い方を考える

つつある中で、案内表示 板等の整備や受入れ環境 の充実が必要です。しか し、県財政が厳しい中 で、子育て環境整備や介 護・医療、急傾斜対策、 横断歩道の引き直し等、 県民生活に密着した課題 に対して迅速に対応すべ きで、私は外国人観光客 受入れ環境整備に関し て、財源確保の為に宿泊 税など他都府県の事例を 参考に「受益者負担の在 り方」を検討すべきと提 案し続けています。ぜ ひ、皆さまのご意見・ご 要望をお寄せ下さい。